

- ・外国につながる子どもたちの理解に必要な調査項目です。「*」の項目はできるだけ初回面談時に確認しましょう。
- ・各学校で用いられている「緊急連絡先カード」や「家庭環境調査票」などと併用し、質問項目は適宜取捨選択してください。
- ・プライバシーに関わる項目が多いですが、子どもの指導上大切な情報ですので、できるだけ詳しく聞きとるようにしてください。

個人調査票

項目	内容	備考(注意)
*氏名	本名 通称名	民族的背景を大切にし本名を名乗る、通称名として日本名を名乗る、帰化してしまうなど様々なケースがあります。本人や家族の気持ち、考え方を尊重してください。
*呼称 (本人が呼ばれたい名前)		
*出身国・出身地域・民族など		同じ国でも、地域や民族によって文化や習慣・価値観、教育内容などが異なる場合があります。
*来日時期 (出入国を繰り返している場合は、その履歴)	初来日 () 年 () 月 () 日 二回目 () 年 () 月 () 日 三回目 () 年 () 月 () 日	
*日本語学習	学習歴の有無 (有 ・ 無) 日本語を学習した期間 () 年 () ヶ月 日本語教育を受けた機関 教科書や教材	
*日本語力	読む、書く、聞く、話す 文字 (ひらがな、カタカナ、漢字) 文法 その他	
話す言語	母語 使用可能な言語 家庭での使用言語	最も話しやすいことばは何か、他にどんなことばが話せるか、家族とは何語で話すかなど
*来日 (編入学) 前に受けた教育や学習状況 (修了学年・学習教科など)	母国での最終学齢 () 学年 (年 月修了) 小学校 () 年または中学校 () 年 母国での学期はいつからいつまでか () 月～ () 月 学習教科 得意 (好きな) 教科 苦手 (嫌いな) 教科	
来日 (編入学) 前の学校の状況	種類 私立校・公立校・その他 () 全校児童・生徒数 () 人 1学年 () クラス 授業時間 () 時～ () 時 1コマ () 分、1日 () コマ	サポート開始後でもよいので、できるだけ早い時期に詳しく確認してください。

来日（編入学）前の家庭環境		両親と離れて暮らしていた場合は必ず確認してください。（誰とどこでどのように暮らしていたか）
本人の性格		
趣味や特技（勉強以外）		
*健康状態 （持病・アレルギーなど）		
*食べ物の好き嫌い （宗教上の制限等）		
*宗教上のことなどで禁忌 （タブー）とされていること		
将来の進路希望 （日本で高校や大学進学などを考えているか）		
*保護者名（国籍）		
保護者の来日目的（就労等）		子どもが日本に来ることを望んでいなかった場合には、心のケアなど配慮が必要な場合があります。
家庭環境 （家族・保護者の職業など）		国際結婚による呼び寄せの場合、一緒に住む祖父母や、異母兄弟の有無なども確認したほうが良いでしょう。
滞在経歴、在留予定期間		帰国の予定がある場合には、サポートの際、母語の辞書を使うなど、母語を保持する工夫が必要です。
保護者の日本語能力		
*日本語が話せる知人の有無 （家族・親戚・友人・隣人など）		
保護者の学校に対する要望		
保護者の教育に対する考え等		
面接者の所見		